



## 創立20周年にあたって

当社は、平成元年7月1日、名古屋市交通事業の健全な運営に寄与することを目的として、名古屋市の出資により誕生した株式会社であり、このたび創立20周年を迎えることになりました。

会社設立当初は、金山総合駅北口に建設された建物「DO!金山」の一角に本社事務所を構え、テナントの入居するその建物の管理運営をはじめ、市バス・地下鉄の乗車券販売、桜通線を主体とする交通広告の販売、駅構内のコインロッカー・飲料自動販売機の設置管理などの事業を運営することとし、社員わずか6名でスタートしました。

その後、順次事業を拡大するとともに、平成19年4月からは名古屋市交通局協力会の事業を引き継ぎました。そして今日では、営業本部・技術本部・サービス事業本部という3本部体制のもと、交通広告の販売・管理、コインロッカー等の設置管理、旅行代理業、不動産管理、市バス・地下鉄車両の整備、定期券等の販売、市バスの車両・地下鉄駅構内の清掃など、多種多様な事業を展開しており、社員数も約600名という大きな組織に成長してまいりました。

これもひとえに、名古屋市交通局をはじめ関係各位のご支援・ご協力、並びに先輩諸氏のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、当社をとりまく経営環境に目を転じますと、昨年来の景気後退のうねりは未だ回復のきざしが見えず、また外郭団体に対する市民の目は一段と厳しくなっています。こうした状況の中で、当社は現在、ICカード乗車券の導入への対応、および(株)交通エンジニアリングとの統合という、いずれも当社の将来を左右するような重要課題を抱えています。このような課題を抱えながら将来を展望するときこそ、温故知新という言葉のように、先人の足跡からいろいろ学ばねばと考えております。

そこで、創立20周年の節目を記念して、当社が歩んできたこれまでの道程と現況をこの小冊子にまとめることにしました。

今後とも、社員一丸となって経営改善に取り組み経営基盤の強化を図るとともに、市民の皆様から信頼され支持されますよう、市民サービスの向上にいっそう努力して参りますので、引き続き皆様のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年7月

株式会社 名古屋交通開発機構  
代表取締役社長 加藤 雄也